



私は今回で4回目の参加になります。日本からの参加人数はこれまでに比べ少なかつたのですが、反面、少人数だから

台湾

聴覚障がい青少年国際キャンプ
違い乗り越え喜びを実感

7/31~8/6

こそスタッフとキャンパーがお互いのことをよく知る機会を多く得られてすごくよかつたと思ひ感じています。まるで、家族のような感じでした。

また、今年のキャンプは、アジア圏だけでなく欧米圏の人たちもたくさん来ていたことに驚きました。おかげで、多文化交流におけるコミュニケーションの幅が広くなり、身振り、英語、筆談、表情、国際手話などありとあらゆる手段を使っ

た。例えば、島内を探検した時に急な斜面がありました。そこを下つていく時に、誰に言われるでもなく、香港のメンバーが日本のメンバーに「つかまって！」と言わんばかりにそつと手を差し伸べている光景が見られました。

今年で10回目となるこのキャンプは、1000人近い子どもたちと30人のリーダーが集まり、とてもにぎやかで、楽しい

スリランカ

8/12~18

LOVE & AFFECTION CAMP
輝く笑顔で PEACE BUILDING

今年で10回目となるこのキャンプは、1000人近い子どもたちと30人のリーダーが集まり、とてもにぎやかで、楽しい

今年で10回目となるこのキャンプは、1000人近い子どもたちと30人のリーダーが集まり、とてもにぎやかで、楽しい



に、さらに発展されることを願っています。野外リーダー 上田雅代

国際プログラム
出会で始まる「国際理解」

シンガポール

夏期リーダー海外派遣研修

言葉なくても心が通じ

7/25~8/16

シンガポールのメトロポリタンYMCAで現地に住んでいる日本人の子どもたちを対象とした体育の短期集中教室、2泊3日のマレーシアでのキャンプ、キッズデイキャンプに参加しました。マレーシアでのキャンプは「インターナショナルキャンプ」という名がついているように、日本

また、初めは日本の子どもたちだけでしていた『ドンじゃんけん』という遊びも、最終日には香港のメンバーも加わりほぼ全員で遊んでいました。『じゃんけん』という簡単



な遊びを通して皆で楽しむという気持ちや、人を思いやる気持ちがあれば、言葉が通じなくても心は通じるということを学んだキャンプでした。体育・スポーツ活動リーダー 河野智世

サンフランシスコ

多文化に触れ 芽生えた意欲

8/18~26

蒸し暑い大阪から少し肌寒いサンフランシスコに到着し、何がなんだかわからず、緊張と期待の入り混じった表情を浮かべた中学生22名を、現地のホストファミリーの方々は本当に暖かく迎え入れてくださった。日本から来た中学生が少しでも早く慣れるようにと、簡単な英語を使ってコミュニケーションをとろうと努力してくださる姿は、覚えての英語を駆使して対応する勇気を彼らに与えた。日本にルーツを持つ日系アメリカ人の人びとと過ごした1週間は、異国から日本の伝統や文化を見つめ直すきっかけとなり、新鮮な

試合で最後まであきらめずにボールを追いかける姿、そして知り合った多くの友人は、この交流プログラムが与えてくれた大切な賜物である。一人ひとりのやる気が実を結んだ結果であるが、そのやる気を育んでくれた数多くの方々の支えに感謝したい。大坂チーム2004総監督 植野正弘(大阪市立住之江中学校校長)

